

No. 110

2021

12月15日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
久保田 正 博
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

**新型コロナ禍で2年続きの活動自粛
これからの時代 地域活動の在り方が課題
従来の形から新しい発想で
区民のコミュニケーションづくりをみんなで考えよう！**



昨年同様に 子供花火配布
本年度も七月末予定の「萩の郷夏祭り」が、コロナ感染防止のため中止となり、保育園児・小学生を対象に、区から自治会を通して配布されました。
分館長・主事・支館部員の皆さんお世話になりました。



喜寿・米寿・卒寿 記念品贈呈

当初十月予定の「萩の郷ふるさと祭り」も七月から計画段階（コロナ感染五波）で中止となりましたが、該当者への記念品を、区から自治会を通し贈呈させて頂きました。どうぞ末長くお元気で。

分館長・主事の皆さん御協力ありがとうございました。

区の情勢について

区長 久保田 正博

四月から新しい委員にバトンタッチされ、半年余が過ぎました。昨年春より続くコロナ禍、山作業始め多くの作業は皆様に大変お世話になり例年通り実施できていますが、春の合同委員会・夏祭り・文化祭り等は今年もやむなく中止致しました。夏祭りの代りに子供達への花火配布と、喜寿・米寿・九十歳以上の皆様への心ばかりの記念品配布を致しました。

さて来春早々の御柱祭ですが、実行委員会による柱用材の仮見立てはできており、木遣・喇叭の練習も再開しましたが、



中学生地域応援隊活動

本年度五月から中学生による地域応援隊活動を受け入れしました。毎月一回区民会館や神社の清掃を通じて会話し地域で子供を育て、子供が地域に愛着をもてるようになればと取り組んでいます。お盆の大雨で小規模災害が発生しましたが幸い人身事故には至らず、今後も区民の皆様のご健勝を願うばかりです。

今後の工程はコロナ等の感染状況次第です。又、

令和3年度前期決算
監査委員所見
監査委員長
松田 忠弘

十月二十二日、下市田区・下市田支館・萩山神社の令和3年度中間決算監査を実施しました。細部は担当委員が聴取意見を述べましたが、其々に証憑書類・預金通帳・金銭出納帳・領収書等精査した結果、適切且つ正確に処理管理保管されている事を確認すると共に、会計担当者の努力に敬意を表し、今後更なる研鑽を望みます。

区の懸案事項として、消防団員の不足、転入者も含めた独立世帯の増加長期展望も踏まえて区役員・自治会役員・区民全員で考える時と思います。

令和3年度 下市田区一般会計 中間決算報告書

(自 令和3年4月1日～至 令和3年9月30日)

決算収入額 14,899,810円 決算支出額 7,270,660円 差引残高 7,629,150円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
前期繰越金	3,165,393	3,165,393	0
区 費	14,700,000	6,759,380	△ 7,940,620
町 支 出 金	8,873,000	3,505,887	△ 5,367,113
財 産 収 入	1,112,000	85,665	△ 1,026,335
地元負担金	211,000	2,470	△ 208,530
消防義務金	1,400,000	1,370,000	△ 30,000
諸 収 入 金	712,600	11,015	△ 701,585
繰 入 金	0	0	0
収入合計	30,173,993	14,899,810	△ 15,274,183

【支出の部】

△印:減(単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	14,570,000	3,701,992	△ 10,868,008
環境衛生費	990,000	0	△ 990,000
林 務 費	760,000	170,966	△ 589,034
土 木 費	1,200,000	1,411,850	211,850
水 利 費	7,565,000	1,159,282	△ 6,405,718
防 災 費	3,518,000	826,570	△ 2,691,430
公 民 館 費	1,000,000	0	△ 1,000,000
予 備 費	570,993	0	△ 570,993
繰 出 金	0	0	0
支出合計	30,173,993	7,270,660	△ 22,903,333

令和3年度 公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 令和3年4月1日～至 令和3年9月30日)

決算収入額 2,974,610円 決算支出額 753,594円 差引残高 2,221,016円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	2,576,199	2,576,199	0
繰 入 金	1,000,000	0	△ 1,000,000
補 助 金	400,000	398,400	△ 1,600
雑 収 入	1,000	11	△ 989
収入合計	3,977,199	2,974,610	△ 1,002,589

【支出の部】

△印:減(単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	1,970,000	446,242	△ 1,523,758
事 業 費	1,880,000	307,352	△ 1,572,648
広 報 費	11,000	0	△ 11,000
予 備 費	116,199	0	△ 116,199
支出合計	3,977,199	753,594	△ 3,223,605

令和三年新町議会議員に聴く なりたいたいあなたに 会えるまち 日本一のしあわせタウン高森町 議員さん教えてこれからの…



北沢 幸保 議員

魅力・誇り・希望の
もてる町を目指します

七月の町議会議員選挙では、下市田区から推薦状をいただき当選できましたことに、感謝と御礼を申し上げます。

第七次まちづくりプランでは、令和十一年の高森町の将来像として「なりたいたいあなたに会えるまち」を掲げています。言い換えれば「住んでいて良かったと思える町」「多くの町民が魅力・誇り・希望のもてる町」にすることではないでしょうか。

そのために以下の目標に向かって取り組んでいきたいと考えています。
①町民が主人公で、行政町)

や議会を動かす町（開かれた行政・開かれた議会）

②平和や社会保障を積極的に推進する町（平和の町・社会保障の町と言われる町）

③安心して子どもを産み育てられる町（子育て・教育に熱心な町）

④基幹産業である農業・中小企業を元気にする町（後継者・新規者への支援）

⑤環境政策（脱炭素・廃プラ・ゴミの減量・電磁波対策など）を積極的に推進する町。

⑥防災減災対策やインフラ整備を計画的に推進する町（安全安心な町）

⑦ジェンダー平等等を推進し、女性が活躍する町。

⑧社会教育活動や地域コミュニティが活発な町。

⑨スポーツや健康増進に力を入れる町（健康寿命が長くピンピンコロリの町）

⑩歴史・文化・伝統・祭りを次世代に継承する町。

これらの目標を前進させるために、町民との対話を積極的にを行い、寄せられた声や要望を議会や行政に届けてまいります。

また、一般質問・委員会活動・予算決算審査などにおいて精一杯頑張る所存です。

尚一層の叱咤激励をお願い申し上げます。



三浦喜久夫 議員

なりたいたい「あなたに会えるまち」：「あなた」を三つの場面に置き換えて所信と方針を描きます。

十年後の町が目指す姿（将来像）にどれくらい近寄れるか、議員二期目の抱負です。

▼なりたいたい「高森町」に会えるまち…

一人ひとりが環境を意識し、無理せず普通に生活していても、脱炭素社会に結びつく。「一人一日一減」の町を目指したい。

三月、町と議会で「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。CO2排出実質ゼロを二〇五〇年に達成させるものです。

気候変動や地球温暖化は、世界規模で大きな課題となっています。

一人ひとりがこれを意識して生活していかなければ、次世代に禍根を残すことになります。

今、私たちがこの課題を自分事として捉え、できることから取り組む必要があります。

▼なりたいたい「下市田区」に会えるまち…

コロナ禍で今まで培われたコミュニティが薄れてきた感じがします。

住んでいて安心と思えるにはコミュニケーションが必要で、「声をか

ける」これだけで人と人がつながり、安心して住める地域ができるはず

まず公民館活動をどう再生していくか皆さんと共に考えます。

▼なりたいたい「議員（自分事ですが）」に会えるまち…

地域のことは何でもやる議員になる。どんなことも、楽しんでやるのが私の信条です。

地域の皆さんと一緒に汗を流して、町・区・地域のために動ける、そんな議員を目指します。

「好きです」あつたかも「ずっと住み続けられる居心地のよい町に…」そんな町に出会えたらいいですね！

さて昨年の七月、三年間の農業委員を終えて間もなく、来年の町議選に出てはとお話がありました。大変ありがたい事ですが、年齢も考え返事は保留して居りました。

今年に入り体調を少し不調等もありましたが、地域の声を町へとの再度のお話に意を固め、出る事にしました。

周囲を見れば、田園地帯であった下市田はリニア新幹線の使用地として、JR東海関連の工業団地化へとピッチを上げて進んでいます。この中でも

つい先日、下市田産業用地整備に係る工事説明会への対応等、休んでいる間も無く毎日が進んでいる状況です。

さて今衆議院選の中、この工業団地整備をするについても真に大切な時、微力ながら応援をしつつ、今迄通りスムーズに事が運んで行く事を願いつつ、一日も早く議員生活に慣れ「地域の声を町へ」を常に忘れずに四年間を全うして行くつもりです。

何卒宜しくお願いします。

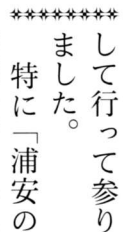
礼申し上げます。



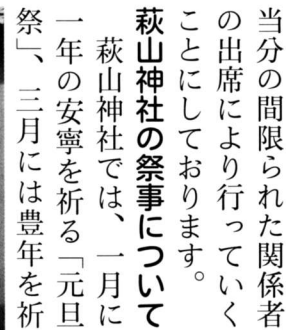
小川 修 議員

地域の声を町へ

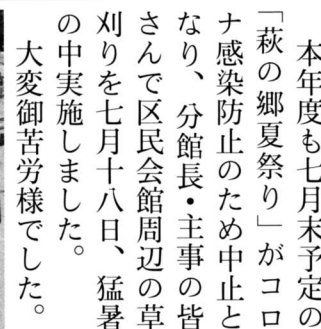
町議選の御礼を申し上げる機会がなく、残念と思っている処この度の依頼、無投票ではありましたが紙面をお借りし、支えていただいた皆様に御礼申し上げます。



んが密集しないよう縮小



願する「春季例祭」、八月には虫送りや台風除けを祈願する「風祭」、九月は収穫を祈願する「秋季例祭」、十一月には豊作に感謝する「新穀感謝祭」、そして十二月には一年間の厄・災いを払う「大祓祭」を行っています。



生きているとは、住むとは
高森町では令和二年度から「第七次振興総合計画」なりたいあなたに会えるまち・日本一のしあわせタウン高森」を策定しました。その目標値を達成する為に、年に一度評価会議を行っています。

八月には福祉センターで「公開評価」や「まちづくり座談会」を。高森中二年生と「まちづくり懇談会」も開催されました。

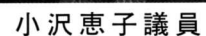
前述の座談会では、会場に集まった方々から「大学が欲しい」「ＩＴ関係の職場が欲しい」「総合病院が欲しい」「介護施設が欲しい」「アリーナが欲しい」等々、様々な「住みたい町」の姿が挙げられ、その一つ一つに町長が答えていらっしました。

私が初めて「まちづくりプラン」を知ったのは新人議員の勉強会でした。子供が学校で体験した「おくお願いいたいします。」

む一人一人が主役です。「自分にとって将来の高森町がこうだったらいいな」「自分が住んで幸せを感じる町とは（今幸せか）」など思いを巡らせながら、例えば「自己実現できるまち」を考えます。

さて十八ある「まちづくりプラン」の施策の中で、私が着目しているのは【子ども笑顔が輝くまち】【多様性のあるまち】です。一人一人様々な個性や特性を持って生まれてきます。時代と共に、そう言った特性に合わせた環境の必要性を感じています。今コロナ禍と言うこともあり、情報収集に動きたくても、先方も対応に追われており、なかなか思うように動けず、足踏みをしている状況ですが、少しずつ取り組んでいます。

どうか今後ともよろしくお願いいたいします。



豆腐づくり」も「地域応援隊」の活動も、この「まちづくりプラン」と関係していた事と知り、大変驚きました。

「元気で多彩なサロン」

一区自治会長 光沢金良

広い一区には、コロナを持ってちょっと緊張しにも負けずお元気で多彩なサロン活動をしている方々がいらっしやいます。下段中心の「いかまい会」と上段中心の「なでしこ会」のみなさんです。毎月一回開かれるサロンは、公共バスの試乗体験したり、地域の歴史を紐解いてみたり、杜協や公民館の話を聞いてみたり、ゲームや脳トレに軽スポーツに歌……会員制で「今度は〇〇やるで来て……」でなくて、都合のついたとき気の向いたときに、気楽に「おいしいカレーを食べに行るか」という雰囲気。参加は主に女性が多いですが、子供たちや男性も増えています。

素晴らしいのは、これらの企画も多彩



な講師先生も身近な地元の方々ということで、ちょっと興味

これからさらに、子供も大人も楽しめる読み聞かせなどの「かりんの会」や、年二回大勢が楽しみの「ふれあいサロン」もあります。コロナ禍で巣ごもりがちな一歩を「サロン」に向けてみてはいかがでしょう。

「灯籠流し」を終えて

六区自治会長 榎原正倫

晩夏を飾る市田灯籠流しは、コロナ禍の為昨年引き続き、煙火大会を中止させていただきました。その昔、物故者の御霊を供養する川施餓鬼から始まり、送り盆としての灯籠流しへと時代とともに続けられ、何とか九十八回を催す事ができました。これも出砂原地区の住民の理解と協力があったからこそ思っております。

しかし、打ち上げ現場の確保や浄財のお願い等、大きな課題が残された年でもあり、「大煙火大会」をいかにして復活、継続して行くのか、今後煙火大会のあり方を考えなければと思います。

この様な中、商工会員・商工会青年部の皆様が「コロナに負けるな」と後日記念花火を打ち上げて



下さり、良い思い出となりました。当地区も少子高

ながら、続けていけたらなど、個人的には思っております。

末筆ではございますが、本年も開催するにあたり、高森町役場・担当職員・下市田区・高森町教会・高森町商工会員・同青年部の皆様、本当にありがとうございました。

随想

私の趣味

三区分館長 和田英幸

仕事中心の生活で、趣味と言える程の物はありません。そこで、長年小学校教諭をやってきた、地域素材を求める中で見つけた「竹」に関わる活動について紹介します。竹との出会いは二十年以上前。泰阜南小学校に勤務していた時です。学区内にたくさんある竹に着目し、竹馬や竹筏・秘密基地づくりなどを使いました。また、使った竹の有効活用として竹炭づくりにも挑戦しました。

現在勤務している竜丘小学校では、竜丘公民館に仲介をお願いし、鷺流峡復活プロジェクトへの協力活動を始め、景観保持のための伐採活動に



加え、伐採した竹の有効活用に取り組んできました。プロジェクトとの連携が五年目を迎え、竹灯籠等の物づくり、筏遊び・幼竹を使ったメンマづくりと販

敬老祭に思う 喜寿を迎え



一区 多田井満里子

三十代半ばに下市田区に転入し、子育てや会社勤めに奔走しながら、ママさんバレーや各種公民館活動に参加させて頂きました。六十代からはNPO法人にて、ボランティア活動奉仕活動に携わっています。

喜寿を迎え、体の不具合の箇所も増えてきましたが、仲間のお力をお借りしながら、お世話になった地域のために、少しでも貢献できたらと思っています。微力な私ですが、今後も地域の一員として頑張っていきたいと思えますので、どうぞ宜しくお願い致します。

四区 竹村 征夫

九月二十三日に西駒に登り、更に馬の背・濃ヶ池・駒飼ノ池を廻って来た、計約八時間の行程。秋の紅葉が素晴らしく一日中快晴で、帰路に着くまで富士山が南アルプスの後方に見えていた。濃ヶ池の周囲は高山植物が多く、夏に来たら花が見られると思うと夏の計画を立てたいと思った。

九月十五日が誕生日だ。以前勤めていた職場の女の子から「すごいね西駒登ったんですね」とラインでの誕生日のお祝いがあった。「高齢だから」「年だから」と言われるが、まだ家の中に引込込むつもりはない、山・花・犬を愛し続けます。



記念品贈呈準備の様子

地域のクラブ・サークル紹介

「下市田会 ゴルフクラブ」

会長 田中利夫

「下市田会」の紹介をさせて頂きました。年齢は十代から八十代と、幅広い層の方が入会されています。

「下市田会」の主な活動は、年二回のゴルフコンペと、春に総会を行っています。しかし昨年は、愛好家ら数名によって立ち上げられ、四十年余り活動を続けています。現在の会員数は、男女合わせて九十五名の方が加入されています。

「ハワイアンカルチャー ナー・プア・アオ・ハワイ」

代表 高橋直美

子どもクラブ
スは高学年

私たちは十二年前にフランダースのサークルとして「ルアナフラ」を作りました。そして十年を境に改名し、フラ以外のウクレレやクラフトも楽しめるグループになりました。現在、子どもフラ二クラス、大人フラ四クラス、ウクレレ一クラスで、クラブは不定期に行っています。

去には百三十名ほど加入されています。年齢は十代から八十代と、幅広い層の方が入会されています。



安堵しているところです。私たちが何より楽しみにしている事があります。それはゴルフ後の表彰式とパーティーです。酒も入り、会場のあちこちで「珍プレー、好プレー」の話に盛り上がり、和気あいあいの雰囲気になります。この様な「下市田会ゴルフクラブ」ですが、良かったら入りませんか、歓迎します。結びに皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。

好きなスポーツ

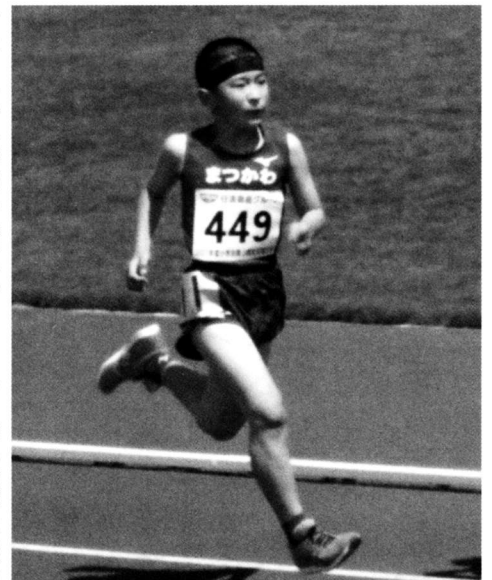
陸上長距離

小六 鳥海倅正(四区)

一年生
から始め
た陸上、
始めた時

スタートラインに立つた時のドキドキした緊張さと負ける事の悔しさはまだ知りませんでした。

三年生から、長距離を始めました。ぼくはメンバーの中で、いつも最下位でした。



くり返しました。強くなれたと思います。六年生になり、大きな大会で走るチャンスが来ました。市町村対抗小学生駅伝大会と県小

備品監査を実施

八月二十七日、区民会館において、下市田区・支館・神社の備品台帳と現物との照合(二年に一回)が、監査委員三名により執り行われました。一部使用不能な品物や破損物件がありました。除却・修繕で承認をして頂きました。



編集後記

コロナワクチン接種率が向上し感染率が低下し、停滞した日常が少しずつ回復の兆しが見えてきました。また感染防止は必要と感じます。

わたしの作文
ぼくの作文

六年間のサッカー

小六 久保田夢徠(五区)

してとても悲しいです。

「いつか速い子たちに追いつきたい。」
そう思いながら練習で走りました。

し、経験を積んできました。大会に出る事で、プレッシャーと緊張が強くなりました。地道な努力、泣けるくらいの悔しさを

学生陸上競技大会です。この二つの大会で、入賞する事が出来ました。最高にうれしかったです。四月から中学生です。

陸上部に入部し、これからも長距離を続けたいです。頑張りたいです。

ぼくは、一年生のころからサッカーをやっていた。今月、水・金と日曜日にサッカーの練習があります。はじめたころは、人数も少なかったけど、今は仲間がふえて楽しいです。チームワークもとても良いと思います。

コロナウイルスが早くおちついて思いっきりサッカーができるようになってほしいです。

そして中学校になって、ずっとみんなと好きなサッカーをつづけていきたいです。

昨年からコロナウィルスで、練習が休みになったり試合がなくなったり



二年続けての萩の郷夏祭り・ふれあい広場が中止となり、開催を楽しみにしていた区民の皆様には残念でしたが、これからの事業を考えながら活気ある地域づくりに向け御意見を頂戴していただきたいと思います。

館報の内容についても人と人の繋がる楽しい紙面交流にして行きたいと思っています。